



オールイン1ウレタン

- タイプ** アクリル・ウレタン樹脂系下塗／上塗兼用塗料
- 規格** 社内規格
- 特徴**
 - 1) 下塗と上塗適性の両方を兼ね備えている。
 - 2) 防食性、耐候性の両機能がすぐれている。
 - 3) 特定化学物質障害予防規則の対象物質及びトルエン、キシレン非含有。
 - 4) 密着性にすぐれている。
 - 5) 耐化学薬品性にすぐれている。

4. 塗料性状

項目	内容			
容姿	2液性			
荷姿	主剤:16Kg、硬化剤:2Kg 主剤:4Kg、硬化剤:500g			
色相	各色			
光沢	85以上			
密度 (20°C)	塗料	主剤=1.15±0.1 硬化剤=0.99±0.02		
	揮発分	主剤=0.87±0.05 硬化剤=0.88±0.05		
粘度(25°C)	70~90KU/ストーマー(主剤)			
不揮発分	46~62%			
乾燥時間*	温度	5°C	20°C	30°C
	指触	60分	40分	20分
	半硬化	150分	100分	60分
標準膜厚	80±20 μm(40 μm×2回)			
貯蔵安定性	6ヶ月			

上記塗料性状の数値は標準を示すものであり、若干の変動があります。
 *乾燥時間はスプレー塗装で膜厚:80±5 μmで測定したデータ

6. 塗膜性能

項目	成績	試験方法
物性	基盤目	100/100
	耐衝撃性	合格
耐水性	異常なし	2ヶ月 20°C 水道水浸漬
耐塩水噴霧性	合格	240時間塩水噴霧試験器によるクロスカット部の錆、フクレ 片幅5mm以内
耐湿性	異常なし	240時間 耐湿試験器による
耐アルカリ性	異常なし	1ヶ月 20°C 5% NaOH溶液 浸漬
耐酸性	異常なし	1ヶ月 20°C 5% H ₂ SO ₄ 溶液 浸漬
耐切削油性	異常なし	2ヶ月 40°C 浸漬(ユーザー指定品)
促進耐候性	光沢保持率:80%以上 色差: ΔE1.5以内	JIS K 5600 キセノンランプ法 1000時間経過後水洗

テストピースは SPCC-SD 板(溶剤脱脂)を使用
 色相:白、膜厚:80±20 μmにて、20°C×7日間乾燥後、各テスト実施

9. 使用上の注意【警告】(主剤・硬化剤)

- (1)引火性の液体である。
- (2)有機溶剤中毒の恐れがある。
- (3)健康に有害な物質を含有している。

使用上の注意の詳細は、容器ラベルに表示

5. 塗装基準

項目	内容		
下地処理	脱脂処理及び動力工具処理		
調合法	主剤100部、硬化剤12.5部(重量比)		
熟成時間	-		
可使時間	5°C	20°C	30°C
	24時間	12時間	8時間
塗装方法	エアスプレー、エアレススプレー		
希釈用シンナー	Autoウレタンシンナー-ECO(季節対応)		
塗装条件	塗装方法	エアスプレー	エアレススプレー
	希釈率	20~40%	5~20%
	理論塗布量※	238g/m ²	

※理論塗布量は色相:白、膜厚:80 μmでの計算値になります。
 本説明書は、製品を適正にご使用頂く為の条件の代表値を記載したものです。記載条件以外の場合は、事前にお問い合わせ下さい。

7. 施工上の注意

- (1)被塗面のさび、油、湿気、じんあい、水分その他の有害な付着物は完全に除去して下さい。
- (2)使用時には主剤と硬化剤を規定の割合に混合し、十分に攪拌して均一な塗料状態にして下さい。混合比を間違えると十分に塗膜性能を発揮しないばかりか塗膜が硬化しないことがあります。
- (3)主剤と硬化剤を混合した後は、可使時間以内に使い尽くして下さい。
- (4)希釈には必ずAutoウレタンシンナー-ECOを使用して下さい。
- (5)硬化剤(イソシアネート化合物)は、空気中の水分と反応するので、たえず密封して冷暗所に貯蔵して下さい。
- (6)硬化剤は低温時に白濁することがありますが塗膜性能には影響しないため、そのままご使用下さい。
- (7)塗装終了後の使用機器は直ちにAutoウレタンシンナー-ECO(特化則対応)・ラッカーシンナー(特化則非対応)で十分に洗浄して下さい。一度硬化すると再びシンナーでは溶解しなくなります。

8. 関連法則

	主 剤	硬 化 剤
危険物表示	第4類第2石油類	第4類第1石油類
有機溶剤区分	第2種有機溶剤含有物	第2種有機溶剤含有物
有害物表示	酢酸ブチル	酢酸エチル 酢酸ブチル
毒劇物表示	-	-
その他表示	-	イソシアネート